

通信

Communication

2001-04

CIPA

ChugokuInteriorPlanner'sAssociation

中国インテリアプランナー協会

〒730-0051

広島市中区大手町2-5-11 ハルゼンビル6F

TEL 082-243-7622・FAX 082-243-7567

中国 IP 協会 2000年度の活動

会長 日高卓三

世紀末を無事通過し、新世紀を迎える事が出来たことをお喜び申し上げます。とはいっても、建築業界の陰りには根深いものがあり、好転する兆しが見られない状況です。賢人はこのような不況時にこそ力を貯え、知恵を存分に働かせるべきだといって、シンポジウム、イベントも重ねられ、さまざまな改革が試みられていますが、この閉塞感を打破するものにはなっていません。欧州並みに、新築工事が少なくなり、リニューアル工事の比率は高まっていますが、IP協会にとってこれが追い風になるかは未知数です。今後とも会員の方々の英知を結集して、当協会の新世紀を踏み出していけることを願っています。

10月4日

第6回広島国際デザインシンポジウムを広島デザイン振興機構の構成団体として開催しました。今回のテーマは「エコロジーの美学」と題して、基調講演を建築家、東京大学助教授のキャサリン・エリザベス・フィンドレイさんにお願ひしました。1994年に設計された「ソフト・アンド・ヘアリー・ハウス(やわらかくふさふさした家)」などをもとに興味深いエコデザインの実践論を展開されました。コーディネーターは広島大学の杉本俊多教授、パネリストは東洋大学の田邦夫教授、広島市立大の鰐澤達夫助教授、広島大学のカロリン・フンク講師でした。

11月4日・5日

第3回JIPAの大会が名古屋にて開催されました。テーマは「インテリア、知から知恵そして感性へ」和やか(なごやか)名古屋でした。

11月18日

講演会「再発見／ル・コルビュジエの絵画と建築」をインテリア学会中国・四国支部とともに開催しました。この事業はル・コルビュジエ愛好者の集まりであるJLC(Japon Le Corbusier Cercle)のご協力をいただきギャルリータイセイの林美佐さんをお招きし、天才建築家でありまた画家でもあったル・コルビュジエについて語っていただいた。

2001年2月24日

店舗デザインのスーパースター「森田恭通氏の仕事」講演会をインテリア学会中国・四国支部とともに開催しました。

J I P A・法人組織化検討委員会報告

副会長 上田幸正

今回まで法人化について検討した結果、NPO法人が唯一、法人化の可能性があると考えられます。その理由はいろいろありますが、設立の要件を比較・検討してみますと、社団法人・財団法人では

- 財団法人で1~5億円の基金、社団法人で2~3千万円の運営資金が必要。
- 主務官庁の許可が必要であるために、少なくとも2~3年かかる。ひどいときは10年たっても法人化が出来ない例もあるとか。
- 行政が、社団法人の縮小化の方向を示している。

NPO法人では

- 設立の要件は選挙活動や宗教活動を目的としない。
- 10人の社員が必要。資金は不要。
- 都道府県、経済企画庁の認証なので、認証申請してから4ヶ月で認証。
- 12分野の活動を主たる目的とするが、我々の活動もその範囲に適合する。

以上の比較でNPO法人化の可能性は、非常に大きいわけです。

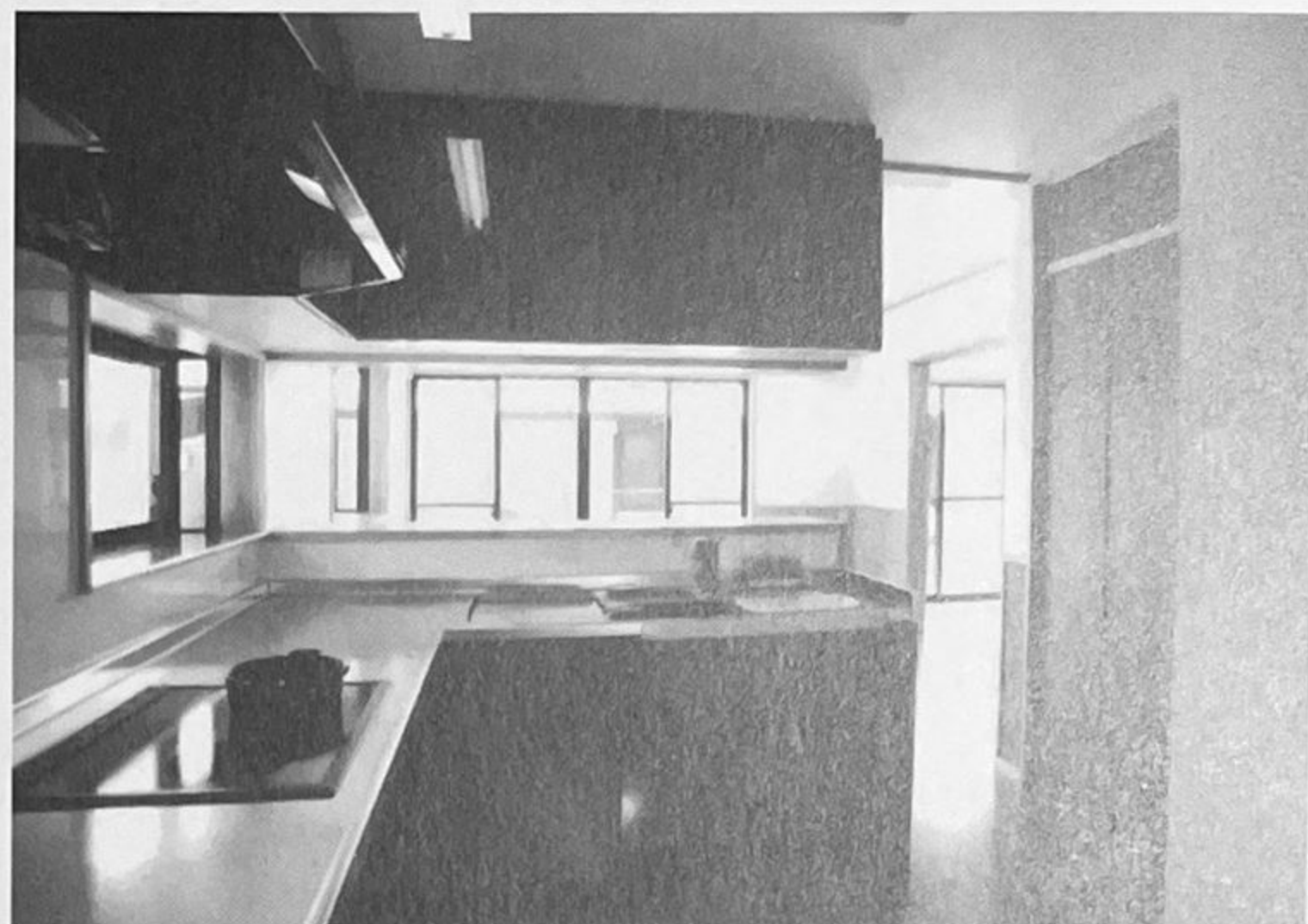
しかし今回の会議でもう少しNPO法人を深く考えてみました。その結果、いくつかの問題が提起されました。その一つは「10人の社員」という部分です。NPO法人の「社員」は、総会で、議決権を持っている会員のことを意味しています。JIPAの場合各協会の代表者(代議員)1名が社員となりますが、その協会を代表して議決を行使しても否決されれば、その協会全体の意見が否決されるわけです。それでは各協会の独立性がたもてません。各協会がNPO法人になる方法もありますが、各々が税金を支払うことになり、それは無駄です。次にNPO法人への課税の問題です。

まず、地方税、住民税(毎年7~8万円)支払わなければなりません。又、固定資産税、不動産取得税、都市計画税も土地などをもっていたり、買ったりすると課税されます。物品販売や出版、興業による収益には法人税がかかります。以上は一部ですが法人化のデメリットも大きいようです。「NPO法人ハンドブック」から引用しますと・・・「法人格と言うのは、何かをしやすくするための一種の社会的な道具です。法人格のメリットとしては、団体として契約の主体となれたり、所有の主体となれることがあります。例えば、企業や行政と事業契約を結ぶとか、事務所を借りるとか、不動産や家具や自然環境を買い取って所有するとか、というときに、個人よりも信用が作りやすくなります。また、人を雇うとか、海外で事務所を開くとか、海外政府と付き合い合うとか、その様なときに法人格が在った方がないよりも団体として活動しやすくなります。デメリットとしては、手間とお金がかかってくることです。お金としては、法人住民税、さらに収益事業を行えば法人税や事業税等様々な税金がかかってきます。従業員を雇えば社会保険や労災、給与の源泉徴収の手続きやコストがかかります。また、情報公開の義務も発生します。法人のルールを違反すれば、周囲や行政からもチェックされることになるでしょう。また、法人を解散したとき、残った財産は他の法人や自治体などに寄付しなければならず、戻ってくることはありません。」・・・以上のメリット・デメリットを慎重に協議を重ね、委員会としてのなんらかの解答を出すことになるでしょう。

(平成13年1月20日 13時30分より関西IP協会事務局にて)

「T邸新築工事」

所在地 尾道市高須町
 施工者 佐藤工務店
 内装仕上 床：木質
 壁：ケイソー土塗り・杉貼
 天井：クロス貼
 (低ホルムアルデヒド仕様)



クライアントと生活環境を考える上で、日常生活空間の材質に配慮する必要があることが大きなテーマとなった。その事から国産材を使った純木造の2階建とし、ノンホルムアルデヒド品を採用することとした。特に内装は、壁・天井はケイソー土塗りとし、腰壁は内地材の杉を利用した。又、オール電化による設備を取り入れた。外壁は、乾式焼物窯変タイルである。

設計：(有)元廣建築設計事務所 元廣清志

「多伎町道の駅」

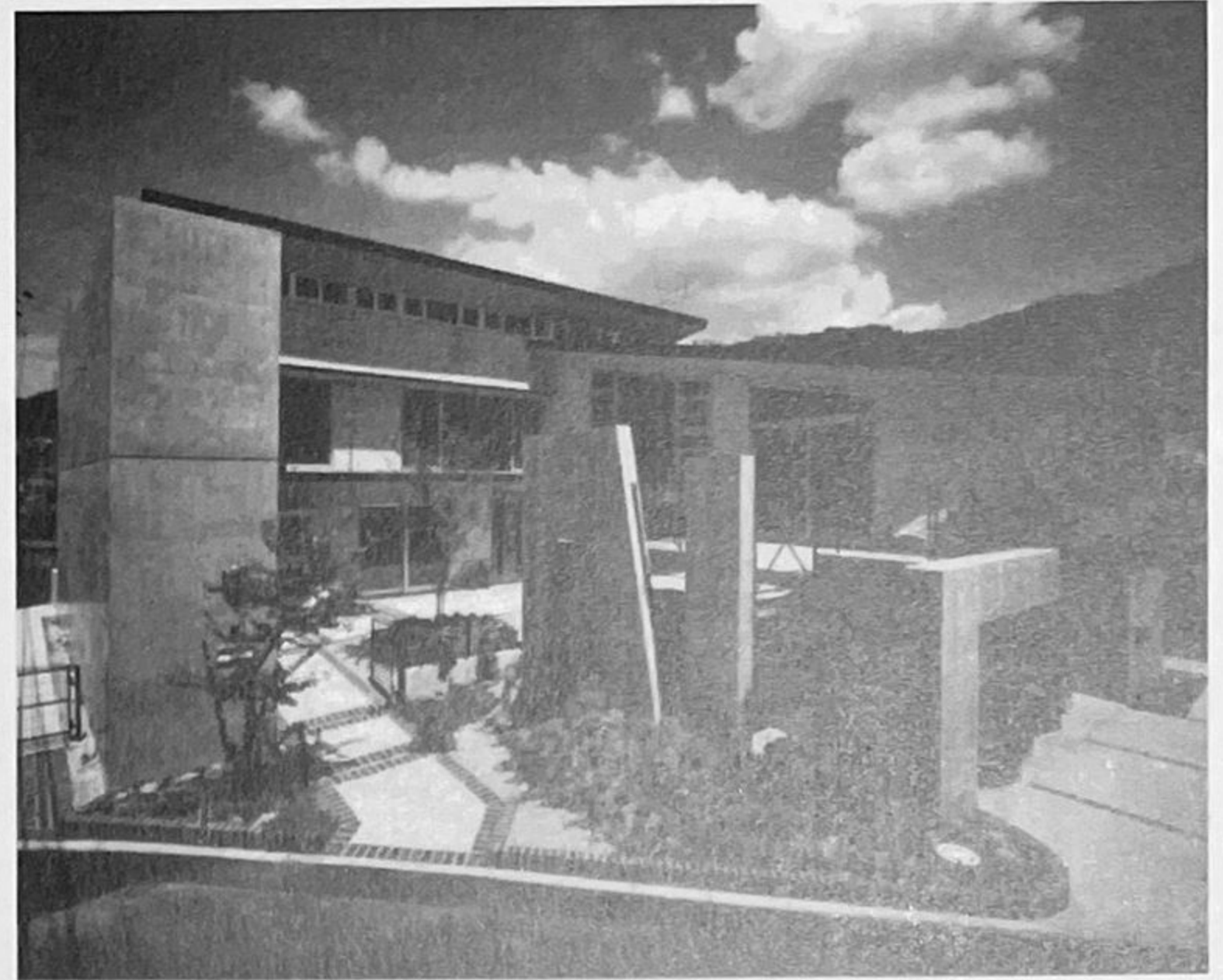
工事名称 多伎町道の駅（生産物直売施設）建築工事
 工事場所 島根県簸川郡多伎町大字多岐地内
 発注者 多伎町長 伊藤 裕
 施工者 株式会社 中筋組
 工期 平成9年9月25日～平成10年3月20日
 構造規模 RC造及びSRC造・屋根S造 2階建
 建築面積 455.00㎡
 延床面積 664.00㎡
 設計・監理 株式会社 三谷設計



松江方面から国道9号線を西へ走ると初めて外海・日本海が見える町、多伎町。この素晴らしいロケーションを背景に北欧風の外観を持つ施設が道の駅「キララ・多伎」です。配置では道路と駐車場との法面には、花のじゅうたん（タピアン・しばざくら）があり、北側のテラスより、日本海へと連続した美しい砂浜（キララビーチ）があります。平面では動線の明解な三つの施設が連続しています。海を眺めながら、新鮮な魚介類が味わえるレストラン。中央には地元特産のいちじく、海産物などを扱う生産物直売施設。ドライバーが気軽に立ち寄れる24時間開放の情報・休息コーナー、便所。それぞれが海辺の交流舞台として利用されています。建物の特徴としては、ランドマークにもなっている尖塔。棟部分に煙突を設け、ドーマの配置された急勾配な屋根。窯変をイメージし乱に葺いた4色のS形瓦。やわらかみのある外壁のレンガ。そして開放的な開口部があり、内部から外部へと連続する空間を構成しました。

「矢野の家」

所在地 広島市安芸区
 施工者 共立建設(株)
 仕上 内部 床：コルクタイル
 壁：PB AEP塗り
 天井：シナ合板 OS塗り
 外部 中空押出成形セメント板
 コンクリート打放し



「永年住み慣れたこの土地を生かす住宅ができるのなら」親夫婦のこの一言で建て替えが決まった二世帯住宅である。幹線道路の騒音と西日を遮るために設けたコンクリートの壁は二世帯が共有する中庭の一面となってる。敷地の高低差を利用しながら、駐車場からロフトまで、五つのフロアをこの中庭を囲むように立体的に構成した。中庭のシンボルツリーがまさにこの家の幹となっている。中二階の居間からは中庭を通して親世帯の様子が伺え、見上げると子供たちの遊ぶ姿が見えてくる。視線や気配も家族を繋ぐ重要な要素のひとつと考え、適度な距離を感じられるよう配慮した。

設計/アトリエ平田 平田 欽也

「一丸タクシー本社新築工事」

所在地 岡山県井原市
 施工者 志多木組
 仕上 内部 床：長尺塩ビシート
 壁：PB、ビニールクロス貼
 天井：PB、クロス貼、化粧PB
 外部 屋根：カラー鉄板瓦棒葺、シルバー
 壁：ALC板



建物用途が、タクシー会社の事務所と車庫なので、事務室は事務室らしく、会議室は会議室らしくということで、白を基調にした明るいインテリアを計画している。

設計：総合設計 井上 元

再発見／ル・コルビュジェの絵画と建築

去る、11月18日、インテリアプランナー協会、インテリアデザイン学会主催で大成ギャラリーの学芸員である林美佐さんによる『再発見／ル・コルビュジェの絵画と建築』と題した講演会が午後1時半から、広島県立美術館講堂で催された。

カッシーナインターデコール広島店より、LC 1. 3. 4をお借りし、正面に設営しての会場に約100名の人々が集まった。会員、学生はもとより、一般の人々も意外に多かった事に、ル・コルビュジェのファンの層の深さを痛感した。今回講演タイトルにもなった本を出版されたばかりで、その本の内容に沿っての講演となった。真っ白なLC3に林さんは座られ、なかなか普段では手に入らない貴重な写真約160枚のスライドをもとに、

〔絵画と建築〕1色、2太陽、3バランス、4窓・扉、5貝殻など、6水、7女性

〔自画像を探る〕1牡牛、2ユビュ王、3パニユルジェ、4手、5カラス、6自画像

という内容に沿ってのお話であった。建築の手法の移り変わりはさる事ながら、彼の描いた絵画をも通じて、あくまでも、自分をどうみせるか、どう演出するかを強く意識し、他人には本当の自分をだせなかったコルビュジェも、実母と妻だけには弱い自分を出せた事や、人格的な事に及ぶまで、今までの論文にない、コルビュジェの人間像をただ、建築家としてだけではなく、学芸員であり、又女性の目からみての発表に、人間としてのコルビュジェの再発見をしたようで、なかなか興味深いものがあった。

沢山の作品の説明にも、殆ど資料も見ないで、淡々と、又的確にお話される姿には、コルビュジェの研究者として、益々の御活躍を確信した講演であった。

又、講演後、沢山の人々からお話を頂いた事によっても、充実した内容の講演であった事をご報告致します。

(有) エルイーオー設計室 中川 裕二



Le Corbusier



Le Corbusier

再発見／ル・コルビュジェの絵画と建築



講師：林 美佐 (ギャラリータイセイ学芸員)
 期日：2000年11月18日 (土)
 会場：広島県立美術館講堂
 時間：13：30-15：30
 入場料：協会・学会JLC会員は無料・学生300円・一般500円
 主催：中国インテリアプランナー協会 日本インテリア学会中国・四国支部
 共催：JLC (Japon Le Corbusier Cercle)
 協力：大成建設、広島県建築士事務所協会、毎日新聞社
 カッシーナ・インターデコール広島

創る

古林 敏郎

社会生活のなかで生産に携わり労働する姿の美しさ、生き生きとした目の輝き、玉雫の黄金の汗、素顔の美しさは男女を問わず最も感動する現場での姿である。長年建築の世界に籍をおいている私は、設計、施工、監理と言う流れのなかで、「創る」、「造る」、「作る」、と言う言葉は「築る」、に通ずるものであらうと思っている。

インテリアプランナーとしてのインスピレーション、アイデンティティー、クリエイトは内部空間としての調和、色彩調整のインパクト、材料の選択を始め家具や照明器具の選定等に建築設備を含めての業務は、建築士とはまた別の高度な専門職である。クライアントに喜んで頂ける事、信頼して頂ける事がプロフェッショナルの業務だと思っている。CPDが強く叫ばれている21世紀は、環境にやさしい新素材の開発、仕様規定から性能規定に建築基準法が変わったと言いつら長年の習慣は怖いもので、この法律の勉強に時間のかかる事である。

住宅関連の法律の多さと共に住宅に関するクレーム、住宅相談は広島県消費生活センターでもワースト10位以内に毎年の常連と発表している。設計の計画段階から施工技術への取組み、他業種との打合せ等インテリアプランナーとしての中広い知識の集積こそが必要ではないかと考えている。現場最重視、最優先に心する老青年プランナーである。

(注) CPD: Continuing Professional Development (専門職能の継続的な自己研修)
KK. 佐藤総合計画 顧問

J I P Aが新しい時代の幕開けに動きはじめました。

「健康な環境へ」 インテリアからの発信

I P E C 21

INTERIOR PRO EX CO21

INTERIOR EXHIBITION & CONFERENCE for PROFESSIONALS

- 会 期 / 2001年11月19日 (月) ・ 20日 (火) ・ 21日 (水)
会 場 / 東京ビッグサイト (有明国際展示場) 西1・2ホール
主 催 / JIPA日本インテリアプランナー協会協議会
実行組織 / INTERIOR PRO EX CO 21 事務局

サンタモニカの新風



2001.1.22
日高卓三

奥さんからタンスの中のパスポートを見せられて、独り言のように、長く使っていませんねと呟かれ、しゅしゅと事は動き始めた。正月休みを利用して、ロスとサンフランシスコへ、フリープラン7日間の観光旅行となりました。

とはいったものの、日程が近付くと、例の虫がでてきて、ロスとなると、フランク・O・ゲリーがいる。ひそやかにゲリーの作品集、アメリカの建築案内、ウェブなどを参照すると、なんとなく自分なりのロスでの行動パターンが浮かんできた。あとは奥さんの観光スポットとどのように折り合いをつけるかが建築家の腕の見せ所。でも今回は頼りになる若い女性の味方が二人も来てくれた。姪の美香ちゃん(ペン大にてランドスケープを専攻、院の2年生)と、その友人の石井さん(UCLA医学部眼科の研究者)。二人はホンダ・シビックでホテルに登場。一路サンタモニカへ。車中ではサザンの曲が若い二人の思い出を懐かしく代弁してくれていた。

ハイウェイを下ってすぐに、石井さんが行きつけの駐車場へ。なんとこれがゲリー作サンタモニカ・プレースの駐車場でした。ここではりえさん親子、聖子さんにも会えるそうです。かように繁盛している商業建築のようです。駐車場建築といえば、いつもファサ

ードのデザインに苦勞するのですが、ゲリーは例のネットフェンスを使って、軽々と解決。躯体との間に避難階段が納まるぐらい離して一面にネットフェンス。その上に、ネットフェンスの切り文字を貼り重ねて遠くから眺めると、ビル名が浮き上がる仕組み。さすがゲリー。

ネットフェンス(chain link)の機能は囲障というネガティブなもの、そして安っぽいものという先入観があったが、ゲリーはこのネガティブな先入感を反転させ、光を柔らげ、風を通し、空間をあいまいに限定し、アートな空間をつくる建材に引き上げている。曲線の絡まった形、垂鉛ドブ付けの仕上色、素材感もゲリー好みなのかも知れない。この他に、波形鉄板(galvanized corrugated steel)、H型鋼、木合版(plywood)、ダンボールなどの安い建材をアートの空間のエレメントに引き上げた手腕はたいしたものである。そしてNASAで開発された3次元のコンピューター技術を駆使して、サンタモニカ発祥のアメリカの建築文化として世界市場を席卷している様は見事である。

次に歩いて街角の本屋さんへ。ゲリーの本を尋ねたら、本棚から分厚い作品集を持ってきて、ご丁寧にもビニールカバーを破り捨

てて、これ一冊ですとのこと。写真たっぷりの重い本だけど、こうなったら買わざるを得ない。そしていかにもついでにといった風情で、本題に入り、ゲーリーの自邸の場所をたずねたら、気持ちよく教えてくれた。

ショッピング・モール、海浜公園、ピアーを散策しながら記念写真、それから美香ちゃんがロス出身のペン大生から聞き出したというサンタモニカで一番押しのボーダー・グリルで昼食。Tシャツ1枚になった彼女は映画に出てくるようなウエイターとメニューの細かい打ち合わせ。マルガリータでほろ酔い加減の奥さんは、はた目には避寒地、サンタモニカの観光タイムにご満足の様子でした。私もつい調子にのって、前の通りを見ながら「サンタモニカでは、近頃、車が渋滞していると両手を離して運転するのが流行っているようですね。そういえば、ローマのタクシードライバーは狭い道を走る時に、口八丁、手八丁で怒鳴りながら走らないといけないから、ハンドルは握らないんだって。」と口をすべらせた。そうしたら案の定、「じゃー、どうやって運転するの。」と問われたので、「あの一、その一、□□□□、だからローマでは女性はタクシードライバーにはなれないんだって。」と答えたら、少し間があって、「うそー。」と響感を買いしました。お返しに、「ゲーリーの建築を見て、おいしいパスタを食べて、ゲーリー(下痢)をしなければいいね。」と娘ギャグも飛んでいました。

そうこう話している内に、ゲーリー作、エッジマー(Edgemar Development 1984-1988)の前に到着。

小規模なものだけど、ゲーリーらしい世界がすみずみまで展開されていた。小鳥の舞い降りる通り庭、アルミ型材で光り輝くカスケード、ロスの青い空と飛行機雲に映える屋上のモビール、棟ごとにデザインされたトップライト、はたしてこれが階段かと思われるような階段、サンタモニカの大工さんの絶対に残業なんかしないぞといった割り切り方が伝わる小屋裏など。形が機能を満足させる以上のものであることをまざまざと教えられた。

続いて、ゲーリーの自邸探し。本屋で教えてもらったように車を走らせたのですが、住宅地なので、表示も少なく見つからない。コンビニを見つけて聞くと教えてくれた。その店員はけったいな家だといって、あんなweirdな家を見たいのか、weirdな日本人たちといった顔つきで見送ってくれた。

他の3人の女性達もサンタモニカ・プレース、エッジマーなどの建物を設計した人がはたしてどんなweirdな家に住んでいるのか興味をもったようです。ハリウッドにあるスターの住宅を観光するのとは違った意味で。

こんな所をゲーリーは住まいに選んだのか、ゆるい坂、大きな並木、直交する広い街路、閑静な古い住宅地、などと納得しながらキョロキョロ見渡していると、ありました。

1920年頃に建てられたピンク色の2階建て住宅を1977年、ゲーリー夫妻が購入し、リニューアルして住んでいるそうです。竣工写真が発表された時、他人が住んで居た在り来りの住宅をこうも自分流に改造できるのか。民謡をモダンジャズにアレンジしたような驚きを感じたものでした。住宅のリニューアルの傑作をいまここに見ることが出来ました。

ゲーリーは今、ロスのダウンタウンで、ウォルト・ディズニーコンサートホールを工事監理中です。現代美術館MOCAの向側に。このホールは1988年にコンペで、ジェームズ・スターリング、ハンス・ホラインなどに勝って、ゲーリーが獲得したもので、やっと着工されたようです。まるでゲーリーの力量が最高調に成るのを待っていたかのように、ゲーリーらしい大樹のように自在な鉄骨架構が始まっていた。

ゲーリーは古い住宅をゲーリー仕立ての自宅にリニューアルした様に、エッジマーを建てて、サンタモニカのメインストリートをリニューアルし、ロスのダウンタウンにコンサートホールを建ててゲーリータウンに仕立てるのでは。スペイン、ドイツにもゲーリーの風を吹かせたし、今やサンタモニカの新風はとどまるどころを知らない勢いです。

● ゴシゴシ磨きは不要です。
トイレの汚れの原因「水アカ」を徹底ガード
「プロガードトイレ」

INAXは、独自の防汚テクノロジーで住まいの様々な汚れの原因をつきとめて、適材適所に対応し、素材、表面技術、デザイン、新機能の開発等あらゆる角度から汚れに強い商品をつくり出しました。

その商品の一つ「プロガードトイレ」は、INAX独自の技術で便器表面を改質。ツルツとした表面を保ち、トイレ汚れのいちばんの原因である「水アカ」を寄せつけません。便器はいつもピカピカ。お手入れは、マイルドな洗剤とやわらかいブラシ等で軽くこするだけ。だからお掃除もカンタンラクラクになり、使用する洗剤の量もぐんと減らせます。洗剤の使用量が減るので環境にもやさしいのです。もちろん、まるごと抗菌仕様で、トイレは、いつも清潔。

その他キッチン、バスルーム、洗面室、住宅外壁など住まいのあらゆる空間に「防汚・抗菌」商品を提案していきます。

株式会社 INAX 中国支社

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀5番17号
住友生命広島八丁堀ビル
TEL082-223-1710

< (財) 建築技術普及センターより >
平成12年度インテリアプランナー試験の結果

	一次試験 (学科)	二次試験 (設計製図)
受験者数	769人	737人
合格者数	474人	228人
合格率	61.6%	30.9%
最終合格率	23.1%	

平成13年度インテリアプランナー試験の実施について

- ・ 試験案内パンフレットの配布 平成13年4月中旬～
- ・ 受験申込書の頒布期間 平成13年6月上旬～7月上旬
- ・ 受験申込書受付期間 平成13年6月下旬～7月上旬
- ・ 一次試験 (学科) 平成13年10月下旬
- ・ 二次試験 (設計製図) 平成14年1月下旬

< 平成13年度総会の案内 >

- 5月18日 (金) 12:30～
- 広島県情報プラザ2F 会議室
- 平成12年度活動報告及び会計報告
- 平成13年度活動計画及び予算案の承認
- 役員選任の件
- その他

平成13年度総会を上記の要領で開催いたします。会員の皆様の多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

< 事務局より >

- ・ 平成12年度会費未納の方は早急に納入下さいますようお願いいたします。
- ・ 新会員募集 当協会では、新規ご入会の会員を募集いたしております。知人の方をご紹介くださいますようお願いいたします。

< 編集室より >

会報第5号をお届けいたします。ご寄稿いただきました会員の皆様に心より感謝申し上げます。会員相互の情報誌となるためにはもっともっと多くの情報が必要です。会員の皆様のご寄稿を心よりお待ちしております。

発行 中国インテリアプランナー協会

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11
住宅デザイン研究所内

TEL 082-243-7622 FAX 082-243-7567